



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場会社名 大成株式会社

上場取引所 名

コード番号 4649 URL <http://www.taisei-bm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 憲司

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 中島 武久

TEL 052-251-6611

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

平成24年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,332	0.7	△5	—	34	△81.4	△16	—
24年3月期第2四半期	8,278	△2.2	160	133.2	184	59.2	98	46.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △66百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 31百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△3.28	—
24年3月期第2四半期	19.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,822	7,181	73.1
24年3月期	10,038	7,298	72.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 7,181百万円 24年3月期 7,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,200	2.2	50	△78.8	110	△65.1	40	△55.1	7.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	5,369,671 株	24年3月期	5,369,671 株
25年3月期2Q	333,960 株	24年3月期	333,960 株
25年3月期2Q	5,035,711 株	24年3月期2Q	5,035,711 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本震災の復興需要など堅調な内需を背景に、低迷していた景気が足元では緩やかに回復してまいりました。しかしながら復興関連を除く内需の伸びの鈍化や輸出の減少を背景に、当第2四半期連結累計期間における景気回復はまだ小幅であります。先行きにつきましても、引き続き欧州経済や中国経済の影響により世界経済の減速は長期化の様相を強めており、また円高傾向・輸出減などの懸念材料は払拭できず、国内でもエコカー補助金の終了や依然としてのデフレ基調の中、日本経済の回復は当面期待できそうにない状況であります。

ビルメンテナンス業界におきましても、既存物件における空室率の高止まりや平均賃料の下落に対する改善傾向は見られず、ビルオーナーの管理コスト削減意識が依然として強く、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）におけるビルメンテナンス事業につきましては、ビルオーナーからの仕様の見直しによる減額要請や解約があったものの、いくつかの新規物件などを獲得し、売上高は微増となりました。しかしながら新規物件における募集費・教育費などの業務準備コスト負担が響いたこと、また解約物件における余剰人員の再配置の遅れなどによるコストが重なったこと、さらには各業務部にて予定していた随時契約が思うように伸びなかったことなどにより、全体として利益面は減益となりました。

リニューアル工事業業につきましては、ビルメンテナンス事業における顧客の他、広く営業活動を行い引き続き工事受注に努めて参りましたが、結果的に売上は減収となりました。

不動産ソリューション事業につきましては、既存の指定管理事業物件において随時売上の獲得や各種イベントの企画などをおこなって参りましたが、利用者の増加にはつながらず、結果的に減収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高83億32百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業損失5百万円（前年同四半期は、1億60百万円の営業利益）、経常利益34百万円（前年同四半期比81.4%減）、四半期純損失16百万円（前年同四半期は、98百万円の四半期純利益）となりました。

前年同四半期と比較しまして、売上高は増収ながら、利益面において減益となりました。

ビルメンテナンス事業

（クリーン業務）

クリーン業務につきましては、一部大型施設他の解約物件もありましたが、ホテルアソシア新横浜、名古屋観光ホテル、明治安田生命新東陽町ビルなどの新規物件の獲得及び既存ホテルの高稼働などの前年対比増収要因が寄与し、売上高は43億2百万円（前年同四半期比1.91%増）となりました。しかしながら新規物件の立上費用や解約による余剰人員の再配置の遅れによる労務費が影響し、営業利益は5億22百万円（同15.34%減）となりました。

（設備管理業務）

設備管理業務につきましては、昨年受注したようなLED交換工事といった大型随時工事は受注できませんでしたが、ベストウェスタンホテル名古屋、中野坂上サンブライトツインなどの新規案件獲得による増収要因が寄与し、売上高は18億34百万円（同0.41%増）となりました。しかしながら新規物件の立上費用や解約などによる余剰人員の労務費が影響し、営業利益は34百万円（同55.49%減）となりました。

（セキュリティ業務）

セキュリティ業務につきましては、セントラルパーク駐車場管理、みよし市役所などの新規物件に加わり、既存物件における随時契約の獲得により、売上高は13億57百万円（同1.75%増）となり、営業利益は1億2百万円（同4.96%増）となりました。

従いまして、ビルメンテナンス部門の売上高は74億94百万円（同1.51%増）となりましたが、労務費などの原価増により営業利益は6億59百万円（同16.72%減）となりました。

リニューアル工事業業

リニューアル工事業業につきましては、積極的に顧客ビルからの工事受注に努めたものの、顧客の修繕計画の先送りなどによる受注件数の減少など厳しい環境下、売上高は5億10百万円（同9.23%減）となり、営業利益は18百万円（同40.80%減）となりました。

不動産ソリューション事業

不動産ソリューション事業につきましては、各施設において自主事業の企画などの集客活動をおこなって参りましたが、利用者の増加にはつながらず、売上高は3億27百万円（同1.64%減）となりました。しかし利益面においては、当社が所有するビルのサブリース化などによる有効活用が収益に寄与し、営業利益は14百万円（同70.09%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産98億22百万円(前連結会計年度末比2億16百万円減)、負債の部は26億40百万円(同99百万円減)となり、純資産の部は、71億81百万円(同1億16百万円減)となりました。

資産の部の減少要因は、主には長期預金が5億円、投資有価証券が1億62百万円、及び保険積立資産が1億30百万円減少したことによるものであります。また負債の部の減少要因は、主には未払法人税等が78百万円、支払手形及び買掛金が44百万円、長期借入金が24百万円減少したことによるものであります。

そして純資産の部の主な減少要因は、利益剰余金が66百万円、その他有価証券評価差額金が49百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月15日に公表した通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成24年11月13日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,547,414	1,904,806
受取手形及び売掛金	1,589,793	1,591,815
有価証券	25,620	61,628
商品及び製品	7,611	6,885
原材料及び貯蔵品	51,114	53,058
繰延税金資産	109,873	117,161
その他	34,110	20,806
貸倒引当金	△800	△773
流動資産合計	3,364,736	3,755,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,981,943	2,041,933
減価償却累計額	△1,334,801	△1,253,373
建物及び構築物（純額）	647,141	788,559
機械装置及び運搬具	470,746	472,791
減価償却累計額	△380,676	△394,607
機械装置及び運搬具（純額）	90,069	78,183
工具、器具及び備品	290,505	307,089
減価償却累計額	△229,899	△241,138
工具、器具及び備品（純額）	60,605	65,951
土地	1,172,981	1,172,981
リース資産	10,843	10,843
減価償却累計額	△8,675	△9,759
リース資産（純額）	2,168	1,084
建設仮勘定	40,975	37,250
有形固定資産合計	2,013,941	2,144,009
無形固定資産		
投資その他の資産	39,102	38,570
投資有価証券	1,834,880	1,672,744
差入保証金	273,706	278,346
退職積立資産	936,840	968,158
保険積立資産	448,955	318,791
ゴルフ会員権	146,449	146,049
繰延税金資産	259,574	274,028
長期預金	650,000	150,000
その他	99,173	104,635
貸倒引当金	△28,440	△28,440
投資その他の資産合計	4,621,140	3,884,314
固定資産合計	6,674,184	6,066,894
資産合計	10,038,920	9,822,285

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	421,893	377,807
短期借入金	60,000	126,000
1年内返済予定の長期借入金	109,920	79,950
リース債務	2,168	1,084
未払費用	198,705	214,552
未払給与	761,643	753,886
未払法人税等	97,296	19,178
未払消費税等	90,345	83,148
賞与引当金	221,865	217,017
その他	147,790	190,059
流動負債合計	2,111,629	2,062,684
固定負債		
長期借入金	89,990	65,000
預り保証金	33,806	29,763
退職給付引当金	292,765	281,427
役員退職慰労引当金	212,400	201,723
固定負債合計	628,962	577,913
負債合計	2,740,592	2,640,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,300	822,300
資本剰余金	878,137	878,137
利益剰余金	5,952,860	5,885,973
自己株式	△314,483	△314,483
株主資本合計	7,338,813	7,271,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△40,485	△90,240
その他の包括利益累計額合計	△40,485	△90,240
純資産合計	7,298,328	7,181,687
負債純資産合計	10,038,920	9,822,285

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	8,278,618	8,332,572
売上原価	7,169,390	7,347,042
売上総利益	1,109,227	985,530
販売費及び一般管理費		
役員報酬	76,548	80,130
給料	384,610	386,760
賞与引当金繰入額	50,149	47,607
役員退職慰労引当金繰入額	8,702	9,013
賃借料	100,414	94,924
減価償却費	30,993	39,313
保険料	5,953	22,608
その他	291,818	310,764
販売費及び一般管理費合計	949,191	991,123
営業利益又は営業損失(△)	160,036	△5,592
営業外収益		
受取利息	9,878	4,198
受取配当金	17,390	16,769
受取手数料	11,342	18,932
受取保険金及び配当金	3,339	2,249
保険返戻金	2,422	6,803
持分法による投資利益	4,150	3,577
貸倒引当金戻入額	11	22
その他	1,181	1,138
営業外収益合計	49,716	53,691
営業外費用		
支払利息	3,746	2,134
有価証券運用損	14,566	5,950
支払手数料	5,703	5,263
雑損失	1,643	600
営業外費用合計	25,660	13,948
経常利益	184,092	34,150
特別利益		
固定資産売却益	—	13
投資有価証券売却益	1,184	—
特別利益合計	1,184	13
特別損失		
固定資産除売却損	17	19,383
投資有価証券売却損	132	—
投資有価証券償還損	—	17,844
ゴルフ会員権評価損	2,633	400
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	500	—
特別損失合計	3,282	37,628
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	181,994	△3,464
法人税、住民税及び事業税	64,683	7,623
法人税等調整額	18,443	5,441
法人税等合計	83,127	13,064
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	98,866	△16,529
四半期純利益又は四半期純損失(△)	98,866	△16,529

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	98,866	△16,529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67,477	△49,754
その他の包括利益合計	△67,477	△49,754
四半期包括利益	31,388	△66,284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,388	△66,284

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	181,994	△3,464
減価償却費	55,702	65,472
持分法による投資損益(△は益)	△4,150	△3,577
ゴルフ会員権評価損	2,633	400
貸倒引当金の増減額(△は減少)	486	△27
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,005	△4,848
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△20,814	△11,338
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5,412	△10,677
売上債権の増減額(△は増加)	△49,249	△2,022
仕入債務の増減額(△は減少)	26,794	△44,086
有価証券運用損益(△は益)	14,566	5,950
支払利息	3,746	2,134
有形固定資産除売却損益(△は益)	17	19,383
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,052	—
投資有価証券償還損益(△は益)	—	17,844
退職積立資産の増減額(△は増加)	△33,924	△31,317
保険積立資産の増減額(△は増加)	2,066	130,164
受取利息及び受取配当金	△27,269	△20,968
その他	46,817	△28,151
小計	185,946	80,871
利息及び配当金の受取額	35,349	32,626
利息の支払額	△3,746	△2,134
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△10,370	△85,095
その他の営業外損益の受取額又は支払額(△は支払)	△3,480	20,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	203,699	46,636
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	500,000
有形固定資産の取得による支出	△95,344	△153,516
無形固定資産の取得による支出	△4,574	△6,959
投資有価証券の取得による支出	△201,913	△188,146
投資有価証券の売却による収入	12,071	5,323
投資有価証券の償還による収入	—	200,000
その他	△24,167	△5,425
投資活動によるキャッシュ・フロー	△313,929	351,275
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	860,000	580,000
短期借入金の返済による支出	△800,000	△514,000
長期借入金の返済による支出	△54,960	△54,960
配当金の支払額	△50,347	△50,474
その他	△1,084	△1,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	△46,391	△40,519
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△156,622	357,392
現金及び現金同等物の期首残高	1,623,551	1,517,414
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,466,928	1,874,806

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューア ル工事業務	不動産ソリ ューション業務		
売上高							
外部顧客への 売上高	4,222,270	1,826,980	1,333,747	562,493	333,126	—	8,278,618
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,222,270	1,826,980	1,333,747	562,493	333,126	—	8,278,618
セグメント利益	616,877	76,695	97,914	30,458	8,423	△670,333	160,036

(注) 1. セグメント利益の調整額△670,333千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューア ル工事業務	不動産ソリ ューション業務		
売上高							
外部顧客への 売上高	4,302,780	1,834,534	1,357,022	510,559	327,675	—	8,332,572
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,302,780	1,834,534	1,357,022	510,559	327,675	—	8,332,572
セグメント利益 又は損失(△)	522,277	34,135	102,767	18,032	14,327	△697,132	△5,592

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△697,132千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。